看護かごしま

Nursing Kagoshima

http://k-kango.jp

2017.Spring Vol.167

2017 年 2 月 18 日　男性看護職交流会（報告は 18P に掲載）

◆会長あいさつ …… 2
◆平成 29 年度　鹿児島県看護協会通常総会骨子 …… 3
◆ほっとニュース …… 15
◆めざせ認定看護師 …… 16
◆平成 28 年度実習指導者講習会を修了して …… 17
◆第 50 回鹿児島県保健看護研究学会報告
◆第 1 回　男性看護職交流会　開催 …… 18
◆性教育推進事業支援委員会　第 3 回研修会報告
◆社会経済福祉委員会「夜勤後の休息」
◆桜島火山爆発総合防災訓練に参加して …… 19
◆平成 29 年度　看護の日週間行事のご案内
◆訪問看護における人材活用試行事業の成果 …… 20
◆訪問看護における人材活用試行事業に参加して
◆ゆめぴか通信　保健師職能委員会 …… 21
◆会員特典ハーモニーランド無料ご招待のご案内 …… 22
◆地区だより …… 23
◆ナースセンターだより …… 25
◆理事会報告 …… 28

平成 28 年度鹿児島県看護協会会員数

保 健 師	443 人
助 産 師	379 人
看 護 師	10,235 人
准看護師	832 人
合　　計	11,889 人

平成 29 年 3 月 31 日現在
※前年度より 153 人増

新年度を迎えて

公益社団法人
鹿児島県看護協会会長
田畑　千穂子

今年の３月に、世界自然遺産登録への動きから「奄美群島国立公園」が誕生しました。公園のテーマは「生命にぎわう亜熱帯のシマ～森と海と島人の暮らし～」となっています。また、平成 30 年の NHK の大河ドラマに「西郷（せご）どん」が決まり、鹿児島とその島々が注目されそうです。春の季節とともに、ふるさとの新しい歴史にも触れるなど楽しみも増えてまいりました。

皆様におかれましては、新年度を迎え、新規入職者や人事異動者などへのオリエンテーションや研修など、お忙しい毎日を過ごしてらっしゃることと思います。日頃から、本会活動に対しまして、ご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、本県では、平成 37 年（2025 年）の地域医療の将来像を示す「鹿児島県地域医療構想」が昭和 28 年 11 月に策定され、構想区域ごとに地域医療構想調整会議が始まっております。在宅医療に係る需要の増加が見込まれる中、「在宅で看取りにおける規制の見直し」も検討されております。地域の病院、訪問看護ステーション、老健施設等が協力して、地域のニーズを踏まえた人材育成を行うことが地域づくりにつながっていくものと考えます。

平成 29 年度の鹿児島県看護協会通常総会は、5 月 20 日（土）かごしま県民交流センターの県民ホールで 9 時 30 分より開催予定です。午後は、三職能合同研修会として、日本看護協会の川本理事を迎え、「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）の活用とキャリア開発」についてご講演頂きます。

本年度の重点事項は以下の 4 点です。

１．地域包括ケアシステムの推進
２．看護職が働きやすい環境づくりの推進
３．看護の質向上及び看護職の役割拡大の推進
４．会員サービスの強化と会員増

その他、新規の取り組みとして、若手看護職の就業支援、看護教員の研修支援、訪問看護事業者の実態調査、訪問看護理解・連携促進事業、子どもと子育て世代包括ケア推進、認知症対策・連携体制整備事業など計画しました。

今年度も皆様から様々なご意見をいただきながら本会の事業をすすめてまいります。そして、他団体や行政、地域とも連携を深め、県民の健康生活の向上につながるように活動してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成 29 年度　通常総会について

平成 29 年度 公益社団法人鹿児島県看護協会通常総会プログラム

開催日　平成 29 年 5 月 20 日（土）
場　所　かごしま県民交流センター

9:00　受付
9:20　オリエンテーション
9:30　開　会
　物故会員への黙祷
　会長挨拶
　来賓祝辞
　来賓紹介
　祝電披露
　鹿児島県看護協会長表彰

10:00　休　憩

10:15　総会開会
　議長団の選出
　議事録署名人選任

10:20　審 議
　議題

第１号		平成 28 年度事業報告書の内容報告の件
第２号	第一号議案	平成 28 年度収支決算報告 (案）及び監査報告の件
第３号	第二号議案	公益社団法人鹿児島県看護協会名誉会員の推薦の件
第４号	第三号議案	平成 29 年度改選役員及び推薦委員の選出の件
第５号	第四号議案	平成 30 年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出の件
第６号		平成 29 年度事業計画書の内容報告の件
第７号		平成 29 年度収支予算報告の件

　平成 29 年度　選挙管理委員任命

12:00　新旧役員挨拶
　看護協会歌合唱

12:15　閉　会

平成 29 年度　三職能合同集会プログラム

開催日　平成 29 年 5 月 20 日（土）
場　所　かごしま県民交流センター

13:30　開　会
　会長あいさつ

　特別講演
　公益社団法人日本看護協会　常任理事　川本　利恵子　氏
　テーマ「看護師のクリニカルラダーの活用とキャリア開発」

15:00　各職能委員長報告

保健師職能委員長	西原　洋子
助産師職能委員長	園田　良子
看護師職能Ⅰ委員長	松原　幸江
看護師職能Ⅱ委員長	冨吉　奈美子

15:30　閉　会

総会要綱及び地区集会要綱の発送について

　総会要綱及び地区集会要綱は会員全てではなく、個人会員は全員、勤務先のある方は施設ごとに希望数だけ配布しております。
今年は昨年度と同じ数を施設へ発送予定です。追加・訂正をされたい施設は当協会までご連絡ください。
　なお、新規施設には人数分お送りいたします。

第一号議案　平成 28 年度収支決算報告及び監査報告（承認）

平成 28 年度決算については、監事の監査を受けたうえで理事会（5 月 13 日）の承認を経て、29 年度通常総会（5 月 20 日）に議案として提出します（資料は当日会場で配布）。

なお、理事会の承認を受けた後、決算の概要をホームページに掲載します。

第二号議案　公益社団法人鹿児島県看護協会名誉会員の推薦（案）

本会定款第 5 条第 1 項 3 号において、名誉会員は、看護事業に顕著な功績のあった保健師、助産師、看護師又は准看護師であって理事会が推薦し、本人の承諾を得て総会において承認されたものとなっている。本人の了解が得られた次の 1 名を本会名誉会員として推薦する。

推薦者は、次のとおり

●糸岡　幹子（いとおか　みきこ）（80 歳）

（推薦理由）

鹿児島県看護協会設立草々時から 80 歳になる現在まで 56 年間の長きに渡り会員として本会を支えてきた。

看護職としては昭和 36 年 4 月から鹿児島大学病院の助産師として、昭和 40 年からは鹿児島大学医学部附属助産婦学校の教官、昭和 49 年からたちばな高等看護学校において後輩の人材育成に努めた。

また、昭和 54 年 4 月には糸岡助産所を開設し、さらに平成 3 年から平成 7 年までは柿木病院で病院婦長として勤務し、その後は現在に至るまで糸岡助産所を運営し、地域の母子保健活動に寄与するとともに助産師教育及び助産事業に顕著な功績があった。

・鹿児島県看護協会（日本看護協会県支部含む）会員歴 56 年

〔主な受賞歴〕

鹿児島市長賞、日本家族計画協会会長表彰、鹿児島県知事表彰、鹿児島県看護協会長表彰、鹿児島県公衆衛生功労賞等

第三号議案　平成２９年度改選役員及び推薦委員の選出

（理由）　役員・推薦委員の任期終了により，定款及び定款施行細則に基づき，役員・推薦委員の選出を求める。

平成 29 年度　役員候補者

役職名		定数	改選	氏名	現・新
保健師職能理事		1	1	西原洋子	現
看護師職能Ⅰ理事		1	1	小玉博子	新
看護師職能Ⅱ理事		1	1	宇治野由美子	新
地区理事	南薩地区理事	1	1	中村昭子	新
	川薩地区理事	1	1	谷川智子	新
	姶良伊佐地区理事	1	1	鮫島明子	新
	大島地区理事	1	1	榊　愛香	新
監事		1	1	財部マチ子	現
監事		1	1	古川康郎	現

平成 29 年度　推薦委員候補者

職能名	候補者名	現・新
保健師	的場由香	新
助産師	東　優子	新
看護師	岩﨑亮子	新
	服部郁代	新
	近川友子	新
	池田久美子	新
	杉野博美	新

候補者紹介

役　職	候補者名	所　　属	協会活動歴	協会活動に対する抱負
保健師職能理事	西 原 洋 子	鹿児島県北薩地域振興局保健福祉環境部健康企画課（川薩保健所）	教育委員2年間 推薦委員1年間 保健師職能委員2年間 保健師職能理事2年間	この度、保健師職能理事として2期目の推薦を受けました。2025年問題といわれる少子超高齢化社会において、地域住民の健康課題に向き合い、住民の生活に根ざした活動が発揮できるよう、地域包括ケアシステムの構築が担える活動の推進に努めてまいります。
看護師職能Ⅰ理事	小 玉 博 子	公益社団法人 鹿児島共済会 南風病院	推薦委員1年間 看護師職能I委員1年間	貴重な機会を頂いたことに恐縮しています。職能委員会の使命である会員の職場環境の現状把握を実施し、可能な限りタイムリーに必要とされる情報提供や研修会等を企画・実施していければと考えております。
看護師職能Ⅱ理事	宇治野由美子	医療法人クオラ 介護老人保健施設 クオリエ	ケアマネジメント 検討委員2年間 介護支援専門員 検討委員7年間	この度看護師職能Ⅱ理事の推薦を受けました。「地域包括ケアシステムの進化・推進」が図られている中、在宅・施設での多職種連携が一層求められています。その中で働く看護職の役割の重要性を認識できるよう活動していきます。よろしくお願い致します。
南薩地区理事	中 村 昭 子	鹿児島県立薩南病院	教育委員6年間 南薩地区評議員2年間 南薩地区副地区長1年間 医療安全ネットワーク委員1年間	この度、南薩地区理事を務めさせていただくことになりました。会員の皆様のお役に立てるようご指導・ご支援をいただきながら精一杯取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。
川薩地区理事	谷 川 智 子	医療法人クオラ クオラリハビリテーション病院	川薩地区理事4年間 認定看護管理者教育運営委員6年間 推薦委員1年間 新人看護職員卒後研修検討委員7年間	超高齢社会に向けて医療・介護の体制が変化しています。地域住民の皆様の元気とニーズに答えていけるよう、地域を支える関係職種の方々と連携しながら、役員一丸となって地区活動を推進していきたいと存じます。
姶良伊佐地区理事	鮫 島 明 子	独立行政法人 国立病院機構 南九州病院	姶良伊佐地区副地区長1年間	地域医療構想が策定され、これから益々医療と介護の現場が変化し、専門性の高さが求められます。看護師の質向上の為にも、地域のネットワークを強みとし地区活動に貢献できるように頑張りたいと思います。
大島地区理事	榊　　愛 香	鹿児島県立大島病院	大島地区書記２年間	この度、大島地区理事の推薦を受けました。会員の皆様のお役に立てるように地区活動に取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。
監事	財 部 マ チ 子	社会医療法人博愛会 人間ドックウェルライフ	財政委員６年間 保健師職能委員２年間 監事４年間	監事として 3 期目の推薦を受けました。誰も経験したことのない少子高齢社会を迎える 2025 年の到来は、看護職への期待とともに社会的責任も大きくなります。微力ですが、役割を果たせるように努力してまいります。

役　職	候補者名	所　　属	協会活動歴	協会活動に対する抱負
監事	古 川 康 郎	外部からの監事 （公認会計士・税理士）	監事４年間	目前に迫った高齢化社会や医療制度改革の諸課題の中にあって、看護協会の担うべき社会的役割は今後益々期待されてきます。公益社団法人としての基盤確立と更なる業務拡充に向けて、引き続き尽力できればと思います。
推薦委員 （保健師）	的 場 由 香	鹿児島県総務部総務事務センター 健康管理係	なし	委員としての役割が果たせるよう努めたいと思います。どうぞよろしくお願いします。
推薦委員 （助産師）	東　　優 子	医療法人愛育会 愛育病院	なし	看護協会の活動が円滑に運営できるように委員の一員として頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。
推薦委員 （看護師）	岩 﨑 亮 子	鹿児島医療生活協同組合 生協訪問看護ステーションこくぶ	なし	推薦委員として役割を理解し任務を担えるように努力したいと思います。また看護協会の運営・活動が円滑に行えるように少しでも貢献できるように頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。
	服 部 郁 代	医療法人あさひ会 金子病院	南薩地区理事２年間 南薩地区副地区長２年間 南薩地区評議員２年間	看護協会の運営・活動に委員としての役割が果たせられるよう、御指導頂きながら頑張っていきたいと思います。よろしくお願い致します。
	近 川 友 子	垂水市立医療センター 垂水中央病院	なし	この度推薦委員の推薦を受けました。微力ではありますが、看護協会の運営・活動に少しでも貢献し、委員としての役割が果たせるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。
	池田久美子	社会福祉法人 恩賜財団 済生会鹿児島病院	なし	今回貴重な機会を頂きました。初めてのことで不安ですが、皆様のご指導をいただきながら、協会の運営が円滑にいくよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。
	杉 野 博 美	出水総合医療センター	出水地区公益委員2年間	協会活動に貢献出来るように委員としての役割を果たせるよう努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

第四号議案　平成 30 年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出

日本看護協会定款並びに定款細則では，都道府県看護協会に委託して，代議員及び予備代議員の選出をすることとなっている。

日本看護協会の代議員数は 750 名であり，都道府県ごとに正会員数に応じた割合の代議員を選出することになっており，鹿児島県看護協会の定数は 12 人であるので，代議員 12 人と予備代議員 12 人の選出について提案する。

なお，選出された者は，平成 30 年度日本看護協会通常総会に出席し，鹿児島県看護協会選出の代議員及び予備代議員（代議員が欠席する場合に出席）として議決権を行使するものである。

平成 30 年度　日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員候補者一覧

	氏　名	施　設　名
代議員（12名）	西　原　洋　子	鹿児島県北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)
	的　場　美　香	独立行政法人国立病院機構　指宿医療センター
	小　玉　博　子	公益社団法人鹿児島共済会　南風病院
	宇治野由美子	医療法人クオラ　介護老人保健施設クオリエ
	本山ゆかり	医療法人徳洲会　鹿児島徳洲会病院
	宮　﨑　美千代	公益社団法人鹿児島共済会　南風病院
	畑　中　勇　二	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター　訪問看護ステーションさくら
	杉安さつき	医療法人松翠会　森園病院
	花　田　博　子	公益社団法人　出水郡医師会広域医療センター
	三　島　真　美	霧島市立医師会医療センター
	加治木ゆかり	医療法人秋津会　徳田脳神経外科病院
	寺　師　敬　子	鹿児島県立大島病院

	氏　名	施　設　名
予備代議員（12名）	前　野　律　江	鹿児島市南部保健センター
	柏　木　幸　子	県民健康プラザ鹿屋医療センター
	寺　内　聖　子	鹿児島大学病院
	真　方　里　砂	株式会社B&T　こすも訪問看護ステーション
	西　元　美　保	医療法人青仁会　池田病院
	坂元眞奈美	鹿児島大学病院
	佐　藤　朋　子	鹿児島県立薩南病院
	寺脇佐代子	社会福祉法人恩賜財団　済生会川内病院
	岩　下　　睦	出水総合医療センター
	鮫　島　明　子	独立行政法人国立病院機構南九州病院
	内　村　昌　子	医療法人秋津会　徳田脳神経外科病院
	上谷由美子	医療法人徳洲会　名瀬徳洲会病院

平成 29 年度　選挙管理委員（議長の任命）

選挙管理委員会は，定款施行細則第 25 条により設置されており，選挙及び選挙管理委員会に関する規程第 5 条により，11 人をもって組織し，各地区長が推薦し，議長が任命することとなっている。任務は，同規程第 6 条により，選挙に関する公示，立候補又は立候補届出の受理，立候補者及び推薦候補者の公示，投票及び開票の管理等である。

なお，これらの業務を円滑に行うため，任期は，平成 29 年 5 月 21 日（総会の翌日）から平成 30 年度総会の当日までとする。

	地区名	氏　名	勤　務　先
1	鹿　児　島	宮　内　幸　子	公益財団法人慈愛会　今村病院分院
2		前　園　裕　子	公益社団法人　鹿児島市医師会病院
3		前　田　智　子	鹿児島医療生活協同組合　谷山生協クリニック
4	南　　薩	國　生　道　代	独立行政法人 国立病院機構指宿医療センター
5	川　　薩	福　永　　香	公益社団法人　川内市医師会立市民病院
6	出　　水	吉　本　理　加	出水総合医療センター
7	姶良伊佐	安　藤　かおり	霧島市立医師会医療センター
8		杉　山　久　美	医療法人栄和会　寺田病院
9	大　　隅	田　代　良　一	垂水市立医療センター垂水中央病院
10		伊　達　由　和	社会医療法人鹿児島愛心会　大隅鹿屋病院
11	大　　島	勇　　成　美	大島支庁保健福祉環境部（名瀬保健所）

平成 28 年度事業報告（議題第 1 号）

平成 28 年度は、定款第 4 条に基づく 6 つの事業や重点事業に取り組んだ。

※重点事業

1．地域包括システムの推進
2、看護職が働きやすい環境づくりの推進
3、看護の質向上及び看護職の役割拡大に向けての事業推進
4　会員サービスの強化と会員増

※平成 28 年度におけるトピックスおよび主な新規の取り組み

● **トピックス**

①熊本地震への災害支援ナース派遣調整等への対応
②子どもと子育て世代包括ケア推進のためのモデル事業の実施
③訪問看護人材活用試行事業の実施
④特定行為に係る看護師の研修受講ニーズ等の調査及び鹿児島大学病院長へ研修区分別科目増加への要望書の提出
⑤ナースシップの導入

● **新規の取組**

1．医療・介護をつなぐ研修支援：薬剤師会等関係団体共催研修、看護師職能Ⅱ企画研修
2．地域での介護予防、重症化予防対策の推進：在宅医療・介護連携推進協議会等参画
3．ナースセンターの運営・機能の強化：ナースセンター事業運営委員会設置
4．看護師のクリニカルラダー・看護実践能力認証制度の普及啓発及びキャリアアップ支援
5．診療所・小規模病院・施設で働く看護職員研修支援：休診日午後の研修会
6．准看護師の研修支援：地区研修実施
7．看護師の特定行為に係る研修制度の広報及び研修ニーズの把握：アンケート調査
8．看護職の役割拡大に向けた職能活動の強化：子どもと子育て世代包括ケア推進のためのモデル事業
9．行政・看護基礎教育機関との連携強化：看護教員養成講習会開催にむけての検討
10. 研修ポイント制の広報及び利用促進
11. 看護職の出向研修の検討及び実施：訪問看護人材活用試行事業
12. 施設代表者会議の定期開催:ナースシップの手続き方法、災害支援の取り組み、「とどけるん」
13. 男性看護職交流会

平成 29 年度重点事業について（議題第 6 号）

超少子高齢化が進む中、住み慣れた地域で生涯豊かな生活が送れる在宅医療・地域包括ケアシステムの構築が喫緊の課題となっております。また、平成 28 年 11 月に地域医療構想が提示され、病院の機能分化・連携、医療介護の推進、雇用の質の向上など地域における看護職の業務拡大、専門性の高い地域活動等、看護職への期待が高まっております。
離島へき地を抱える本県は、医療資源が鹿児島市内に集中する傾向にあり、二次医療圏では看護職員の確保が厳しく、地域格差に対する対策が求められております。急性期医療と地域との切れ目のないケアを目指し、保健師・助産師・看護師の三職能が協働し、子育て支援（日本版ネウボラ）、看護基礎教育制度の改革、看護師のクリニカルラダーを活用した継続教育の拡充、訪問看護師の人材育成、人材確保対策等の課題に「看護の力」を結集して取り組む必要があります。
本会が平成 28 年度に実施しました「訪問看護における人材活用試行事業」は、病院の看護師が訪問看護ステーションへ出向し訪問看護に従事するもので「地域で看護人材を育てる仕組み」として注目され、今年度も継続事業として計画しております。限りあるマンパワーと財源の中で、個人の能力と意欲を最大限に発揮できるキャリアと働き方の実現に向けて、皆様とともに進めてまいりたいと思います。
平成 29 年度は日本看護協会の重点政策と連動した以下の４つを重点事項としてあげました。昨年と大きく変わってはおりませんが、新規事業など様々な事業を通して地域貢献、看護職確保、看護の質の向上など、さらに推進してまいりたいと思います。

平成 29 年度重点事業

1．地域包括ケアシステムの推進
　1）地域包括ケアシステムへの参画・推進
　2）子どもと子育て世代の包括ケアシステムの推進
　3）医療・介護をつなぐ研修等の推進
　4）訪問看護共有体制の推進
2、看護職が働きやすい環境づくりの推進
　1）看護職確保・定着支援及び県内就業の推進
　2）看護職の勤務環境改善事業の推進
　3）県内ハローワークとの連携推進
3、看護の質向上及び看護職の役割拡大の推進
　1）看護基礎教育の強化
　2）継続教育の多様化及び充実
　3）保健師・助産師・看護師・准看護師への支援
　4）特定行為研修制度の普及
4、会員サービスの強化と会員増
　1）新会員情報管理システムの広報及びシステム管理体制の強化
　2）会員特典の拡大・会員増

※県内の看護職を取り巻く状況等

看護職及び看護協会の概要	○県内の看護職就業者数 (平成 26 年末) ・職種別：保健師 881 人, 助産師 554 人, 看護師 20,276 人, 准看護師 10,155 人　計 31,866 人 ○看護協会会員数(平成 29 年 3 月末) ・会員数 11,889 人, 入会率は就業者(平成 26 年末)の 39.1%(全国 46.0%) ・職種別入会率：保健師 443 人(50.3%, 全国 42.8%), 助産師 379 人(68.4%), 全国 69.3%), 看護師 10,235 人(50.5%, 全国 56.1%), 准看護師 832 人(8.2%、全国 11.9%)　※全国は平成 26 年度の入会率 ○県内看護師養成状況(平成 28 年 4 月末現在) ・保健師 3 校, 助産師 3 校, 看護師 25 校(大学 2 校, 3 年課程 13 校, 5 年一貫 6 校, 2 年課程 4 校), 准看護師 5 校 ＊助産師は平成 26 年度から大学院で養成(1 校) ○看護職の離職率(日本看護協会調査) 常勤看護職員：平成 22 県 11.3%(全国 11.2%)平 23 県 10.9%(全国 10.9%)平成 24 県 10.7%(全国 11.0%) 平成 26 県 10.4%(全国 11.0%)平成 27 県 11.3%(全国 10.8%)平成 28 県 11.0%(全国 10.9%) 新人看護職員：平成 22 県 13.6%(全国 8.6%)平 23 県 6.9%(全国 7.5%)平成 24 県 5.8%(全国 7.9%) 平成 26 県 3.9%(全国 7.5%)平成 27 県 4.7%(全国 7.5%)平成 28 県 7.0%(全国 7.8%) ○認定看護師等(平成 29 年 3 月 11 日現在, 日本看護協会ホームページ) ・認定看護師 245 人(21 分野中不妊症看護０), 専門看護師 4 人, 認定看護管理者 25 人 ○看護師の副院長：13 人程度 ○災害支援ナース登録数：103 人(平成 29 年度 3 月末現在) ○県看護協会医療安全ネットワーク：７地区 ○各種委員会：種類 24(職能 4 , 常任 8, 特別 12)委員数 167 人 ○広報手段：ホームページ, 広報紙(看護かごしま, 季刊) ○県等委員就任：県・鹿児島市等委員 96, 各市町村認定審査会委員, 各市町村障害区分認定審査会委員 ○協会事業：無料職業紹介所, 訪問看護ステーションかごしま, 居宅介護支援事業所
人口	人口 1,648,177 人, 65 歳以上人口 29.4%, 75 歳以上人口 14.8%, 年少人口 13.5%(平成 27 年国勢調査)

平成 29 年度事業計画（議題第 6 号）

本会は，公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びにその公益目的事業の推進に資するための事業等を 7 つの地区と連携し、次のとおり行う。

○事業 (定款第 4 条)

1．看護教育及び学会等学術振興に関する事業
2．看護職の労働環境の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
3．看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
4．地域ケアサービスの実施及び促進等による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
5．日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業
6．その他本会の目的を達成するために必要な事業

○主な新規の取組

1．看護師のクリニカルラダーの活用推進
2．若手看護職の就業支援
3．看護教員の研修支援
4．訪問看護事業者の実態調査
5．訪問看護事業者によるサービス提供体制の強化
6．訪問看護理解・連携促進事業
7．医療・介護事業者ターミナルケアの促進事業
8．認知症対策・連携体制整備事業
9．子どもと子育て世代地域包括ケア体制の推進
10. 看護職のボランティア活動推進
11. 看護職の賃金モデルの活用推進の検討
12. 看護職のネットワーク強化事業

1．看護教育及び学会等学術振興に関する事業

★新規

項　目	内　　容	関係委員会等
1　看護教育制度に関する情報収集、広報		
1）　看護基礎教育について	a）日本看護協会理事会出席 b）厚生労働省審議会等の動向把握 c）看護師基礎教育 4 年生の推進	・業務執行理事
2）　保健師・助産師教育大学院化に関すること	a）助産師教育大学院の周知 b）保健師教育大学院に関する情報収集	・職能委員会
3）　准看護師への支援	a）進学支援 b）研修支援 c）関係機関団体との連携 d）情報収集、地区等での研修支援	・職能委員会 ・業務執行理事 ・地区長
4）　看護教員養成講習会について	a）県への要望 b）看護専任教員養成講習会開催に向けた行政への準備協力	・業務執行理事 ・業務執行理事
5）看護職員の能力向上対策研修事業 （特定分野における実習指導者講習会）	a）看護基礎教育と継続教育の連携強化 b）特定分野における実習指導者講習会 c）行政・看護基礎教育機関との連携	・職能委員会 ・教育委員会
2　継続教育の充実		
1）　県協会研修会の企画と実施 ①　一般研修 （衛星放送、インターネット配信含む）	a）教育研修事業の企画、実施 b）教育研修事業の改善・検討（研修毎のアンケート調査をもとに） c）クリニカルラダーレベル研修の充実	・教育委員会
②　職能委員会企画の研修 (県委託含む)	a）保健師研修会：キャリア形成、統括保健師研修（助産師・看護師職能と合同研修） b）助産師研修会：産科管理者研修、アドバンス助産師交流 c）看護師ⅠⅡ研修会：こころの健康づくりメンタルヘルス等研修 d）介護・福祉施設等で働く看護師、管理者研修会	・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会 ・看護師職能委員会Ⅰ ・看護師職能委員会Ⅱ
③　県受託・補助研修	a）実習指導者講習会 b）高齢者権利擁護等推進事業における看護職員研修 c）訪問看護師養成研修（基礎・養成・管理）（e ﾗｰﾆﾝｸﾞ受講修了者の受入） d）看護教育の質の向上研修 e）就業相談員養成・育成研修 f）特定分野における実習指導者講習会　(重複) g）精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会　★ h）エンドオブライフケア研修　★ i）病院勤務の医療従事者向け認知症対応向上研修　★ J）看護職員向け認知症対応能力向上研修　★	・教育委員会 ・ナースセンター ・訪問看護研修検討委員会
2）　地区研修の推進	a）会員・非会員への研修支援	・地区長

項　目	内　　容	関係委員会等
3）地区研修の充実	a）地区での研修の企画・実施 b）地区内でのブロック別研修の実施	
4）認定看護師の活用・支援	a）認定看護師の交流会 b）認定看護管理者の支援・活用	
3　認定看護管理者教育 1）ファーストレベル教育事業	a）ファーストレベル教育企画・運営 b）フアーストレベル修了生支援 a）セカンドレベル教育企画・運営 b）セカンドレベルフォローアップ研修 c）サードレベル教育の受講促進	・認定看護管理者教育運営委員会
4　保健看護研究学会に関する事業	a）鹿児島県保健看護研究学会の開催 b）看護研究への取り組み c）日本看護学会の開催案内	・学会委員会 ・教育委員会 ・業務執行理事

2. 看護職の労働環境の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

項　目	内　　容	関係委員会等
1　働き続けられる職場づくり 1）「ワーク・ライフ・バランス」の推進	a）ワーク･ライフ･バランス（WLB）フォローアップ研修会開催(県受託) ＷＬＢ推進評価委員会による体制づくり b）かえるプロジェクトの推進 c）地区との共催事業：ノ-残業ｄａｙ実施 d）ＷＬＢ取組施設訪問	・ナースセンター ・社会経済福祉委員会 ・３職能委員会
2）病院・施設責任者への働きかけ	a）労働局企画委員会への参画 b）関係者への労務管理研修 c）働きやすい組織風土作り d）労働と看護の質データベース事業（ＤＩＮQL）の推進	・業務執行理事 ・地区長
3）介護領域における看護機能の充実	a）高齢者ケア施設で働く看護管理者研修 認知症研修　★	・看護師職能委員会Ⅱ
4）看護職の卒後臨床研修制度の推進 （県委託） ①研修責任者研修 ②実地指導者研修 ③新人看護職員合同研修 ④新人助産師合同研修	a）プロジェクトチームによる研修実施 ・各施設へ：研修体制の整備への支援 ・関係機関団体との連携 ・地区事業との連携 ・３地区で実施（南薩・大隅・大島）	・新人研修プロジェクトチーム ・地区長 ・助産師職能委員会
5）看護職のリフレッシュ	a）リフレッシュ研修等の充実 b）会員・男性看護師交流会	・地区長 ・業務執行理事
2　看護職確保対策の推進（県委託） 1）再就業相談事業 ①看護職員就業相談事業	a）看護師等無料職業相談、紹介 b）看護職員需要施設実態調査 c）地区のハローワークでの就業相談	・ナースセンター
2）潜在看護師等就業支援 ①離職者届出制度への対応	a）離職看護師の届出制度の活用 b）再就業支援セミナー開催 ・注射・採血に特化した技術研修 c）セカンドキャリア支援	・ナースセンター ・地区長
3）ナースセンターの強化・利用促進 ①第５次 NCCS の広報・活用　　重点３	a）看護学校・養成所訪問 b）ハローワークかごしまでの相談 c）ナースセンター便りの充実 d）中・高校の進路指導教員との連携 e）職業紹介に関する関係機関との連絡調整 d）ナースセンター運営協議会の充実	・ナースセンター
4）助産師出向及び研修支援事業	a）助産師地域偏在の改善と助産師実践能力の強化 b）クリニカルラダーレベルⅢ認証制度の推進	・業務執行理事
5）小・中・高校生への支援	a）進路支援（看護への道）出前授業 b）性教育・命の授業等の実施 c）性教育に関する指導者育成・レベルアップ研修会	・ナースセンター ・性教育推進事業支援会 ・地区長

3. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

項　目	内　　容	関係委員会等
1　看護業務に関する看護の質の保証の推進 1）特定行為に係る研修制度の推進	a）看護業務の整理・役割拡大、他職種との連携など	・業務執行理事

3. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

項　目	内　　容	関係委員会等
	特定行為研修制度の広報、研修機関等について b）関係機関との連携	
2）看護業務に関する検討	a）他職種との役割分担・連携について b）地区における研究・発表 c）看護工夫展の開催	・教育委員会 ・社会経済福祉委員会 ・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会
3）看護職の出向研修の検討	a）病院と訪問看護ステーション・介護施設の相互研修　★	・看護師職能委員会Ⅰ ・看護師職能委員会Ⅱ ・地区長
2　職能委員会活動 1）保健師のキャリアパスの構築 2）助産師ラダーの推進 3）看護師ラダーの推進	a）職能独自の問題の検討・提言 労働環境、業務整理、３職能の役割拡大等 新人研修、基礎教育のあり方検討 b）地区との連携強化	・職能委員会
3　実態把握	a）国及び日看協の統計等の情報収集・分析 b）看護部長等のメーリングリストの活用 c）各地区への訪問	・業務執行理事 ・各委員会
4　県等への要望活動	a）予算要望書の提出	・業務執行理事

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

項　目	内　　容	関係委員会等
1　県民の健康づくり推進に関する事業　重点１ 1）生活習慣病予防事業及び介護予防事業対策への取り組み ・CKD予防 ・認知症予防 ・たばこ対策の推進と普及	a）関係機関の連携会議等への参加・協働 体育の日健康づくりイベント参加 b）健康相談、計測等 c）「まちの保健室」の開催　（地区事業含む） d）他団体との連携 e）広報活動	・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会 ・看護師職能委員会 ・ナースセンター ・看護の日委員会 ・各地区長
2）子供・高齢者虐待予防対策への取組み	a）関係機関・関係団体との連携及び関係会議等への出席 b）施設従事者の研修等	・事業担当者 ・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会
3）生涯を通じた女性の健康支援	a）関係機関・関係団体との連携及び関係会議等への出席	・看護師職能委員会
4）がん対策支援	a）関係機関団体との連携・委員の推薦 b）普及啓発運動 c）研修会の開催 d）イベント活動への参加：ピンクリボン月間 「つながる想いｉｎかごしま」への協力	・保健師職能委員会 ・助産師職能委員会 ・看護師職能委員会 ・パワフル age 委員会 ・業務執行理事
5）感染症対策支援	a）関係機関団体との連携 b）新型インフルエンザ計画の見直し	・業務執行理事
6）医療・看護安全に関する支援	a）関係機関団体との連携 b）看護 110 番相談の実施 c）事故調査制度に係る相談支援	・業務執行理事
7）地域医療連携計画・地域医療構想への参加	a）行政（県・市）の会議参加 b）関係機関との連携	・保健師職能委員会 ・事業担当者 ・地区長
8）難病・障害者支援	a）関係機関との連携・会議等への出席 b）障害程度区分認定審査会委員の推薦	・保健師職能委員会 ・業務執行理事
9）自殺対策	a）ゲートキーパー養成・ステップアップ講習 b）自殺予防街頭キャンペーン参加	・地区長
2　次世代育成支援 1）次世代育成支援事業の推進	a）思春期対策への取り組み ・性教育授業の組織化・推進 b）子どもと子育て世代地域包括ケア体制推進　★ c）啓発活動推進 d）関係機関との連携	・助産師職能委員会 ・性教育推進事業支援会 ・３職能委員会 ・地区長 ・業務執行理事
3　地域保健活動の推進 1）地域ニーズに応じた保健活動	a）保健活動の充実、スキルアップ b）従事者間のネットワークの強化 九州ブロック会議、保健師長会など c）保健師活動指針の活用 d）統括保健師育成研修	・保健師職能委員会

項　目	内　　容	関係委員会等
4　介護保険制度の適切な運用の推進 1）介護保険事業の推進	a）関係機関団体との連携・協力 b）介護認定審査委員の推薦	
5　医療介護の連携　重点1	a）他職種連携研修等への参加 b）看護職連携推進事業	・業務執行理事
6　地域包括ケアシステムの構築　重点1	a）看護職の視点からの情報発信 b）関係機関団体との連携 c）市町村の地域包括ケアシステム構築への参画 d）地域での介護予防・重症化予防対策への取組	・地区長 ・業務執行理事
7　訪問看護事業 1）訪問看護相談支援事業 ①訪問看護に関わる総合相談の対応・体制整備 ②訪問看護に関わる情報収集 ③訪問看護の質の向上	a）訪問看護相談支援センターの充実 b）訪問看護相談支援ホームページの充実 c）訪問看護師研修支援 d）診療報酬改正などの情報発信・相談 e）地区での訪問看護研修支援	・訪問看護ステーション
2）「訪問看護ステーションかごしま」に関する事業 ①事業の適正運営・ICT 化 ②経営基盤の強化 ③広報活動（地域住民、会員・会員外への事業紹介） ④ネットワークづくり	a）PR 活動の強化、新規利用者の獲得 b）訪問看護の質・技術の向上・ICT 化 c）関係機関・関係団体の連携・協力 d）看護師・看護学生・医学生の実習受け入れ e）地域のニーズの把握	・訪問看護ステーション
3）居宅介護支援事業所に関する事業 ①居宅介護支援事業所の適正運営 ②関係機関・関係団体との連携協力	a）PR 活動の強化、新規利用者の獲得 b）介護保険制度改正に関する情報収集 c）ケアマネジャーの質・技術向上	
4）訪問看護供給体制推進事業	a）訪問看護事業者実態調査及び課題抽出事業　★ b）精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会　★ c）訪問看護理解・連携促進事業　★ （病院看護師の訪問看護ステーションへの出向）	・業務執行理事 ・教育委員会
8　医療看護安全に関する事業 1）医療・看護安全対策に関する情報収集	a）地域における取り組みに関する情報収集と支援 ・医療安全ﾈｯﾄﾜｰｸ病院連絡会の開催 b）日本看護協会関係会議への参加	・地区ネットワーク病院 ・医療・看護安全対策委員会
2）医療安全管理者養成研修	a）医療安全管理者の養成と質の向上 (e-learning の導入　他職種の研修受け入れ) b）医療安全研修（他職種の研修受け入れ）	・医療・看護安全対策委員会
3）関連機関団体との連携促進	a）医療事故調査制度支援団体等連絡協議会への参画★	・業務執行理事
9　災害時における活動体制の推進事業 1）活動体制等の整備	a）災害対応マニュアルの改正 b）災害支援ナース登録の推進 (特に，離島) c）支援活動に必要な物品の整備	・災害看護対策検討委員会
2）災害看護に関する研修の企画実施	a）災害支援ナースのレベルアップ研修 b）関係機関との連携	
3）災害訓練	a）日本看護協会・鹿児島県・鹿児島市等との合同防災訓練への参加 b）会員・災害支援ナースの周知	・災害看護検討委員会 ・災害支援ナース
4）救護活動	a）地区におけるｲﾍﾞﾝﾄ時の救護 b）災害支援、ネットワークづくり c）県との災害協定後の支援計画の検討	・地区長 ・災害看護検討委員会 ・業務執行理事

5. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

項　目	内　　容	関係委員会等
1　組織強化・拡大　重点4 1）協会組織の強化 ①入会促進 ②地区との連携強化 ③施設代表者会議	a）各事業・研修を通しての PR 活動 b）看護協会ホームページ・広報紙の充実 c）県医師会との連携 d）地区長情報交換	・業務執行理事 ・会員管理担当者

項　目	内　　容	関係委員会等
④看護師等養成校との連携	e）看護学校行事（入学式への祝電・戴帽式・卒業式等）への出席，教育協議会への参加 f）平成28年度入会率40%目標を目指す	・業務執行理事 ・会員管理担当者

地区名	策定時の会員数（H24. 7. 5）	平成28年度末会員数	平成29年度末目　標
鹿　児　島	5,341	5,971	6,000
南　　薩	791	812	900
川　　薩	644	733	740
出　　水	510	493	510
姶良伊佐	1,337	1,554	1,570
大　　隅	1,562	1,604	1,630
大　　島	672	722	745
計	10,857	11,889	12,095

項　目	内　　容	関係委員会等
		・業務執行理事 ・地区長 ・業務執行理事 ・地区 ・各委員会
県外への転出等 44 名のため合計は不一致 2）新会員情報管理システムへの対応	a）会員ヘナースシップの広報強化	・業務執行理事
3）看護職のネットワーク強化事業	a）県内新入職者の交流会　★ b）アウトリーチ活動　★ c）教育における啓発活動　★	・地区長 ・地区長
3）円滑な組織運営 ①公益社団法人としての整備	a）公益移行後の組織整備 臨時職員等の就業規則の見直し b）顧問弁護士の活用	・規約委員会 ・事務局
②県看護協会会議の定期開催	a）事業目的達成に向けて各会議・委員会の連携・強化 ・通常総会 ・職能別集会 ・理事会 ・運営委員会 ・職能委員会 ・常任・特別委員会 ・事業検討会 ・研究倫理委員会 ・県看護連盟との協議	
③地区関係会議	・地区集会 ・評議委員会	・地区長 ・担当委員
④日本看護協会関係会議への参加	a）日本看護協会との連携を密にし、重点事業の目的達成を図る ・日本看護協会通常総会・職能別集会 ・法人会員会・職能委員長会 ・地区別法人会・都道府県職能委員長会 ・担当者会議	・職能委員長
⑤役職員の資質向上のための研修・学会参加		
⑥会員情報登録管理	a）会員情報管理の効率化 b）会員情報管理の精度向上	・会員管理担当者
⑦館内外情報管理	a）館内ランのセキュリティ対策 b）外部情報のセキュリテイ対策	・事務局
⑧災害時の対応	a）火災・地震等発生時の研修生避難の検討、訓練	・事務局
2　広報活動 1）地域住民、看護職及び会員への情報提供活動 ①広報紙の発行 ②ホームページの定期的改善 ③本会事業関連冊子の作成と普及	a）「看護かごしま」の充実 b）新コーナーの検討 c）ホームページ・看護かごしまへの各委員会活動等の掲載の徹底 d）女性団体連絡協議会との連携	・広報委員会 ・地区長 ・職能・常任・特別委員会 ・事務局
2）社会への広報強化 ①関係機関・団体を通じた広報活動	a）社会・マスコミへ向けた活動	・事務局
3）「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進 ①記念式典及びイベントの開催 ②1日まちの保健室	a）県民への広報 鹿児島県・市、県・市医師会等との連携 b）中学生・高校生のふれあい看護体験の募集・実施，施設への呼びかけ	・看護の日・週間行事実行委員会 ・ナースセンター

項　目	内　　容	関係委員会等
③「ふれあい看護体験」 ④「出前授業」 ⑤「看護への道」進路相談	c）報告書の作成と配布	・ナースセンター ・地区長
3　会員支援に関する事業 1）看護職賠償責任保険制度加入促進	a）研修会時の広報	・業務執行理事 ・医療看護安全対策委員会
2）会員の福利厚生	a）各種表彰制度への会員の推薦 b）慶弔・災害見舞制度の運用 c）災害支援ナース傷害保障保険加入 d）役員・委員の傷害保険加入 e）テーマパークの入場料助成等 重点３　f）研修ポイント制の広報及び利用促進	・業務執行理事 ・事務局
4　施設管理に関する事項 1）鹿児島県看護研修会館の管理 ①建物整備の管理・運営	a）定期的保守修繕 b）会館設備充実	・事務局
2）図書室管理・運営 ①文書・文献等の充実 ②文献検索体制の整備	a）ホームページでの図書検索 b）雑誌、ビデオ、DVD などの整理 c）教育環境の整備　（インターネット導入等）	・事務局

ほっとニュース

1 平成 28 年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます。

平成 29 年 2 月 13 日に、永年にわたり公衆衛生事業のために献身的活動を続け、その功績が顕著である者に対して授与される厚生労働大臣表彰を以下の 2 名の方が受賞されました。
誠におめでとうございます。

①原田　ケイ子（鹿児島県看護協会）
②八田　冷子　（鹿児島純心女子大学）

2 日本がん看護学会学術奨励賞（教育・実践部門）受賞おめでとうございます。

日本がん看護学会の平成 28 年度　学術奨励賞　教育・実践部門において『鹿児島県におけるがん看護の発展と向上を目的としたがん看護教育に関する活動』が高く評価され表彰を受けました。
代表者の社会医療法人博愛会相良病院の江口恵子副院長・総看護部長は「みんなで取り組んできた成果である」と喜びを語りました。また、事務局を担っている相良病院の多大なるご支援や研修会場を提供して下さった施設のご協力のお陰であると感謝を述べていらっしゃいます。

3 ナースセンター土曜日開所のお知らせ

ナースセンターは 2 月から土曜日も開所しております。平日に時間が取れない方はご利用下さい。また、求人施設の方々の来所もお待ちしております。
※ただし、5 月 20 日（土）は総会のため閉館いたします、ご注意ください。

認定看護師紹介

めざせ！認定看護師

活動内容～やりがい・自身が大切にしている事～

医療法人青仁会　鹿屋訪問看護ステーション
訪問看護認定看護師
下村　直美

私が、訪問看護認定看護師を取得しようと思ったきっかけは、在院でのターミナルの利用者様や家族が最期まで在宅で過ごすことができ看取りができた事例で訪問看護のやりがいを感じることができました。しかし、最期を病院で迎える事例もあります。そして、医療依存度の高い利用者様の地域の受け皿がなく家族の負担が大きい状況を見ながらも問題解決することができない自分の無力さを痛感し訪問看護の知識を深めたいと思ったことがきっかけでした。

東京の教育機関で６ヶ月の研修を受講し、2012 年に訪問看護分野の認定資格を取得しました。研修生は全国各地から集まり、職位や年齢の違いと、私の事業所は看護師 14 人の他にリハスタッフも専従しておりますが、４～５人の事業所で勤務する看護師もおり環境等にも違いもありました。しかし、お互いの悩みを共有し、訪問看護について意見交換し議論し合いながら、切磋琢磨した６ヶ月間でした。認定取得前は、利用者様や家族の思いを傾聴し看護に繋げる事に難しさを感じていましたが、認定資格取得後は、利用者様や家族の思いを尊重しＱＯＬ向上に向けた看護とともに家族にも視点を向けた看護を実践できるようになりました。

当事業所の特徴として、ターミナル・神経難病・小児等の医療依存度の高い利用者様を 365 日・２４時間体制で訪問看護しています。入院中から、いかにスムーズに在宅療養へ移行するかが、その後の在宅療養に大きく影響するため、退院前カンファレンスや担当者会議への出席や外泊時の訪問看護も行っています。院内活動として、外来や病棟看護師が在宅をイメージし利用者様や家族への退院に向けた指導・教育が早期から開始できるよう研修を行いました。更に新規相談シートを作成し情報共有し連携が図れるようにしています。院外活動として、訪問看護師育成のための訪問看護入門講習や訪問看護養成講習で看護の実際や看護学生に在宅看護論の講義を実施し訪問看護の情報を発信しています。また、在宅において介護職員へ喀痰吸引や胃瘻注入の実地研修及び指導・評価することにより医療依存度の高い利用者様の家族の介護負担の軽減が図れるようになりました。今後も地域へも出向き訪問看護の情報を発信していきたいと思います。

訪問看護認定看護師は、診療報酬の加算がある「緩和ケア」「感染管理」「皮膚排泄ケア」などの分野に比べ人数が少なく、県内にも５名です。月に１回の会議を開催し事例検討や情報交換により質の向上を図り、お互いの悩みや相談をすることで問題解決の糸口になっています。訪問看護が好きで、訪問看護認定看護師になりたいと思っている人は多いと思います。しかし、事業所や家庭環境等によりなかなか難しい状況であると思います。私は、法人や家族や仲間のサポートがあり６ヶ月の研修を無事に終了することができました。研修により訪問看護の知識を深めることができ視野が広がりました。勤務時間内での相談への対応は難しいですが、現場での困りごとなどがありましたら一緒に考えていきたいと思いますのでご連絡頂けたら幸いです。今後は、利用者様や家族が安心して在宅で過ごすことができる地域つくりのための橋渡しになれるよう尽力したいと思います。

平成 28 年度実習指導者講習会を修了して

公益財団法人昭和会　今給黎総合病院　畠中　愛

平成 28 年 11 月 21 日から 40 日間の実習指導者講習会が始まりました。私が受講に至ったきっかけは、実習指導を行う中での学生への指導や問題解決だけでなく、新人やスタッフ教育の面で自身の成長にも繋がるのではないかという病棟師長の勧めがあったからです。以前から受講したいという思いはありましたが、講習期間が 40 日と長期であるため病棟スタッフに申し訳ないという気持ちがあり、何年も参加を断念していました。そんな中、病棟師長に「しばらく現場を離れてみるのもいい経験になる」と背中を押して頂き、受講する事となりました。

研修参加者は 47 名で、医療機関や施設等で働く看護師であり、中には助産師や保健師資格をもっている方もいました。実際に参加して思う事は、想像していた以上の素晴らしい学びが、本当にたくさんあった事です。毎日 6 時間の様々な科目の講義を受け、毎日必ず「学習カード」を作成し翌日に提出します。その学習カードに欠かさず先生方がコメントを下さり「褒めてもらえた！」「学習を深められるようなアドバイスをもらえた！」と、毎日それを読む事がとても楽しみでした。20 年程前の学生に戻ったような感覚と学生時代とは違った意味で必死に学ぼうとしている自分がとても新鮮で、こんなにも学ぶ事は楽しく、心が豊かになるのだと感じました。研修後半に入ると指導案作成が始まり、何をどのように進めればいいかわからず、戸惑いもありましたが、同じグループの仲間が共に考え、意見を出し合い、認め賛同し、互いの意見を尊重し合いながら進めていくことができました。指導案作成はとても難しく投げ出したい気持ちになる事もありましたが、本当に楽しく充実した時間を過ごすことができたのは、講義で得た知識と一緒に頑張れる仲間がいてくれたからだと思います。

最後に、ご指導頂いた講師、演習支援者の先生方、また教育担当の方、そしてこのような機会を与えて下さった自施設と、欠員の中私を気持ちよく研修へ送り出してくれた病棟スタッフに深く感謝いたします。

第 50 回鹿児島保健看護研究学会報告

平成 29 年 1 月 20 日（金）に鹿児島県看護研修会館において、第 50 回鹿児島県保健看護研究学会が開催されました。参加者は総勢 167 名（会員 161 名、非会員 6 名）と多くの参加を頂きました。当日は、午前から午後にかけ 16 題（口演 13 題、示説 3 題）の研究発表がなされ、発表後も会場からの質問を頂き活発な質疑応答がなされました。発表された研究は、院内の看護実践から在宅ケア、地域包括ケアなどに関するものまで多岐にのぼりました。発表された方々が真摯に看護に取り組んでいらっしゃる姿を感じることができました。研究発表終了後は、鹿児島大学医学部保健学科講師の兒玉慎平先生に「質の高い看護研究を目指して－研究計画と概念枠組み－」と題してご講演頂きました。兒玉先生には午前中の研究発表から聞いていただき、発表内容を踏まえながら研究の概念枠組みについてお話しをして頂きました。聴講者の方々からは、とても分かりやすい講演内容で概念枠組みの大切さが分かった、研究に対する苦手意識が変わったなどの感想を頂きました。本年度の学会も盛会裏のうちに終えることができましたことを感謝申し上げます。

平成 29 年度は、平成 30 年 1 月 19 日（金）に当学会の開催を予定しております。多くの方々に研究発表と学会参加を頂ければと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

（学会委員会委員長　下野義弘）

第１回　男性看護職交流会　開催

男性看護師の皆さんが、県内でも徐々に増え、いろいろな職場で活躍しています。
県看護協会では、２月 18 日（土）『男性看護師の可能性を探る～私たちの強みとは何か』と題し、はじめて男性看護師交流会を開催いたしましたところ、85 名の参加がありました。
基調講演では、社会医療法人青洲会グループ本部看護・介護局長　長谷川正志さんに男性看護師のキャリアアップについてご自身の経験を踏まえ、お話し頂きました。
その後のシンポジウムでは、下野義弘氏（純心女子大学看護栄養学部看護学科教授）、中村幸司氏（鹿児島徳洲会病院救急看護認定看護師）、大久保均氏（鹿児島市立病院手術室看護師）がそれぞれの立場と経験から参加者に語り掛けてくれました。
参加された方々からは「男性看護師会に参加して男性の意見を聞けたのでよかったです。今後も続けてほしい。」「2 回、3 回とずっと続けてほしい」などの声が聞かれ、大半の参加者が今後も開催を希望していました。また、南日本新聞にも掲載され、いろいろなところからの反響もありました。
平成 29 年度も開催することが決定しましたので、働く男性看護職の交流の機会として活用して下さい。

性教育推進事業支援委員会　第３回研修会報告

日程：平成２９年１月２８日（土）
時間：１３：００～１６：００
場所：看護協会　３階大研修室
講師：岩室　紳也　先生
（ヘルスプローモーション推進センター　センター長）

～あなたにできる、あなただから出来る性教育～をテーマに講演をしていただきました。
心に残る性教育や人とのつながり“絆”について学ぶことができました。それぞれの立場からできる性教育を考えていく機会になりました。
後半は、鹿児島県における各地域の保健所・病院・学校関係者等の方が多く参加していただき、性教育事業体系の情報交換を行うことができました。

社会経済福祉委員会　夜勤後の休息

夜勤後の休息について、2回連続夜勤後にはおおむね48時間以上を確保する。
1回の夜勤後についてもおおむね24時間以上を確保することが望ましい。

生体リズムは 2 日間で確定されるため、2 回連続して夜勤を行うことで、夜型に固定するといわれています。一般社会と同じ昼型の生体リズムを維持するために 2 回連続の夜勤の後は 2 日間の休息を確保し、深夜勤務明けの夜間睡眠ともう 1 回の夜間睡眠をとる必要があります。夜勤による疲労を残さないためには 1 回の夜勤の後に関しても十分な休息時間として 24 時間以上の休息を確保することが望ましいとされています。
夜勤明けは、疲労回復のための昼間睡眠を取ったとしても、睡眠の持続時間が短く、熟睡が得られにくくなります。中高年者は夜間睡眠にしか疲労回復に必要な深い睡眠が出現しないという研究結果もあります。
なお、2 連続夜勤の 1 回目の夜勤と 2 回目の夜勤との間隔については、11 時間以上の勤務間隔を確保してください。

夜勤・交代制勤務に関するガイドラインより

災害看護検討委員会　桜島火山爆発総合防災訓練に参加して

平成 29 年 1 月 12 日、鹿児島市桜島溶岩グランド・桜島総合体育館において、平成 28 年度桜島火山爆発総合防災訓練が実施されました。今回の訓練は、平成 27 年 8 月 15 日桜島の噴火警戒レベル 4（避難準備）への引き上げに伴い全島避難を見据えた課題を検討し、「一人の逃げ遅れも出さないために」をテーマに企画されました。

訓練内容はより実践を意識されたものとなり、島外避難訓練や住民主体による避難所設置・運営訓練等が今回初めて企画されていました。

鹿児島県看護協会からは、災害支援ナース 19 名、災害看護検討委員 6 名で参加しました。例年通り避難所での健康相談のほか、避難所での災害支援ナースの活動を想定し、体調不良者への対応や避難所の環境整備等の感染症対策、エコノミー症候群の予防のための援助等の訓練を行いました。参加者からは「避難所での吐物処理の実技を体験できてよかった」、「外国人の対応について勉強をしないといけない」等の意見もありました。

災害看護に興味のある看護職の皆さん、災害支援ナースへ登録し、災害看護に対する知識・技術の向上や実際に被災地で活動してみませんか？

平成 29 年度　看護の日週間行事のご案内

＜看護の日　記念式典＞

日時：平成２９年５月１２日（金）　13：00 ～ 16：00
会場：公益社団法人　鹿児島県医師会館　４階大ホール
内容：①ミニコンサート
②看護業務功労者県知事表彰
③看護業務功労者県知事表彰者の看護体験談
④講演　「私の看護の原点～だれもが地域でともに暮らすために～」
講師：ＮＰＯ法人このゆびとーまれ　理事長　惣万　佳代子　先生
（2015 年　フローレンス・ナイチンゲール記章受賞）

★どなたでも参加でき、入場は無料です。詳細はホームページまたは、関係施設へお送りしました実施要領をご確認の上、申込用紙をＦＡＸ(099-256-8079）にてお送りください。また、当日参加も可能です。

＜まちの保健室＞

日時：平成２９年５月２７日（土）10：00　～ 16：30
会場：イオン鹿児島鴨池店（旧ダイエー鹿児島店）
（鹿児島市鴨池２-２６-３０）
内容：＊測定コーナー／色々な体組成、血管年齢、骨密度、血圧
＊相談コーナー／健康、お薬、煙草、介護、「看護への道」進路、乳癌予防について
＊体験コーナー／貯筋運動、一次救命処置の実演・体験（ＢＬＳ）、プチナース体験

★どなたでも参加でき、無料となりますので、ご家族やご友人とご一緒にぜひお越しください。

訪問看護における人材活用試行事業の成果

医療法人明輝会　よしの訪問看護ステーション
所長　　横尾　智子

1．事業の趣旨

地域包括システムの整備が急がれている中、訪問看護に携わる看護師の確保･育成･活用策が大きな課題となっています。一方病院においても在宅復帰支援機能の強化が急務であり病院看護師には、利用者の退院後の在宅療養ニーズ及び在宅でのサポート資源を理解し、円滑な社会復帰支援を行うことが求められています。今回の事業で、鹿児島市立病院の救急病棟看護師が平成 28 年 10 月～ 12 月、よしの訪問看護ステーションに出向し、訪問看護に従事しながら知識・技術を学び院内での看護ケアや退院調整における在宅支援能力の向上につなげるとともに、出向看護師を受け入れるステーション側にも、出向期間におけるマンパワー支援の提供をめざすものです。

2．実施状況

医療依存のある利用者が在宅で療養するイメージができにくいと考えられることから、本事業を通し、医療依存がありながらも在宅で様々な社会資源を活用し、継続した医療と介護を受けながら地域で生活していることをイメージできる人材を育成する目的とした。出向看護師は、1 か月で、乳幼児から高齢者、末期がん、難病、精神とすべての利用者が自宅でサービス受けながら過ごしている事、更に施設にも全介助の利用者、看取りの利用者がいることに驚いている。2 か月では、単独訪問を行い利用者の生活の場で「その人らしさ」を大切にしながら訪問看護の実際を体験している。3 か月では、利用者が安心して退院できる状況は何か、利用者は何を望んでいるか自己決定支援について学んでいる。

3．成果

出向看護師を受け入れ、訪問看護を伝える意識やモチベーションが事業所内で高まった。また、人員に余裕が生まれ、新患への対応、複数名訪問、緊急時訪問などコスト面にも繋がった。事業を実施し、生活をイメージできる人材を育成し活用したことで、事業収益にもなった。今後、育児休暇から病院復帰でなく居住地の近くにある病院のステーションへ出向扱いで勤務し、その後に病院復帰やそのままステーション勤務するなど人材活用もいろんな形があって良いのではと考える機会となった。

訪問看護における人材活用試行事業に参加して

鹿児島市立病院　　救急病棟　坂元　奈里子

当院は高度急性期病院として地域住民の生命と健康を守る役割を担っており、24 時間体制で救急患者さんの受け入れを行っています。急性期医療を提供した後、患者さんはどのような状態でどのような支援を受けているのか経過を知る機会がなく、また、訪問看護にも興味がありましたが漠然としたイメージでしか持っていませんでした。今回の事業に参加し在宅医療の現状、訪問看護の実際を知ることができ、とても楽しく充実した実りのある研修となりました。

初回の同行訪問の時は、多くの高齢者、ターミナル患者さん、小児と幅広い年齢層の利用者が何らかのサービスを受けて自宅で過ごしていること、施設での看取り、病院と同じような医療機器に囲まれて自宅で過ごしている利用者を知り驚きが多かったです。利用者を支える社会資源、シームレスなサービス提供を行うための他職種との連携、地域包括ケアシステムについて学ぶことができました。

研修を受け急性期病院としての課題は、患者は生活者として暮らしていく視点で、食事、移動、排泄など自立に向けた方法の工夫、「これからどのように療養していきたいか」の自己決定支援、「帰せる医療」を目標に、入院早期からケアマネージャーと協働し介護支援連携カンファレンスを実施し、在宅で患者さん・家族ができるシンプルな方法の退院指導の工夫が重要となり、急性期医療を提供する中で地域に帰っていただくという意識を持ち看護を行っていくことが必要だと感じました。

今回の事業で訪問看護ケアを学び、病院から在宅へ看護を繋げる事で、医療依存度の高い患者さんであっても必要なサービスを受けることにより在宅療養が可能であること、利用者が長期にわたり自宅で日常生活を送れる事を学びました。病院で「病院という環境下でやらなくてはいけない医療・看護」から、患者主体で考え「退院後患者が続ける疾病管理」という視点でイメージし、他職種との連携、社会資源を活用することにより、看護師として円滑な退院支援に繋げられるようにしていきたいと考えます。また､病院から在宅復帰を促進するためには、地域の医療機関、訪問看護ステーションとのよりスムーズな連携が不可欠です。今後も看看連携を通じて顔の見える関係、お互いの役割の認識を深め急性期病院の看護師としての役割を担っていきたいと考えます。

委員会報告 保健師職能委員会

「ゆめぴか通信」は、地域で働く看護職に向けて、鹿児島県看護協会保健師職能委員が作成し、情報発信する機関誌です。

28年度、第３回目の保健師研修会を開催しました！

“スッキリ！ナットク！実践力アップ事例検討会”

―日本看護協会 保健指導ミーティング―

平成29年１月20日（金）姶良保健所にて開催 参加者39名
（初めての参加や若い保健師の参加が多いでした）

♪姶良伊佐地域振興局保健福祉部の揚松部長のあいさつ

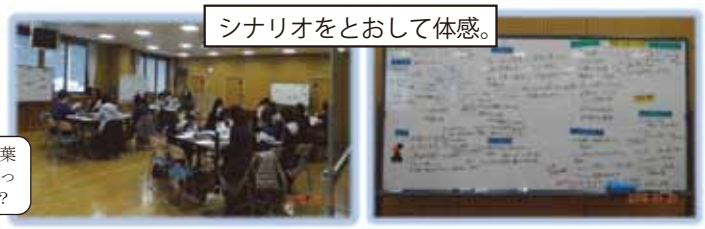
29 年度、日本公衆衛生学会が鹿児島にて開催予定でテーマや特別講演に明治維新を盛り込んでいます。鹿児島の偉人たちがリーダー的役割を果たしており、過去の歴史を振り返りながら公衆衛生を考えてもらいたい。保健師の活動にも公衆衛生を担うリーダー的役割を期待しているので様々な研修を通しスキルをあげていってほしいとエールをいただきました。

♪研修導入：「事例検討会とは！」 半下石保健師（肝付町）より説明

事例検討は本人・家族を見てアセスメントしていく必要ありその検討過程をとおして支援者同士の共通認識や事例への実践力がアップし良い支援へとつながります。

５つの要素	①積極的参加・・提出された事例を、自分の事例として、対象を理解する ②体験共有・・・思考プロセスを共有し、応用力を獲得する ③協同・・・・・板書を活用し共通認識し実践につなげる ④創造・・・・・様々な知識や経験を持った参加者が集まり、様々な視点から情報を整理し支援策を見出す ⑤学習・・・・・思考や創造力を育み実践力を養う
３つの特徴	★情報整理プロセスを重視する ★アセスメントを言語化する ★具体的な支援と役割を決定する

♪デモンストレーションとロールプレイ
・・ 体験後感想を出し合っています！



★一番は支援者が気づくこと！！★

～参加者や事例定提供者の感想～

・視覚的に共有や共通理解しやすい方法だった ・同じ保健師でも職場や立場でいろいろな意見が出て支援方法が広がった ・自分で気づかない課題や事実と自分の考え(空想・思い込み）がはっきり見えてきた ・・ぼやけてスタートしてもやっていくうちに物事がはっきりしてきた ・ケース自身が出来ていることはその人の強みとして支援していくという気付きになった ・改めてケースの全体像が見えてきた ・最近は新人保健師も重たいケースを抱えている ・皆がどんどん意見を出してくるので記録がすこし大変だった ・保健師はあくまでも医療職。ベースには疾患もあるのでしっかり勉強も必要 ・身近なものとして係内や保健師定例会等で時間をとって実践したい ・気軽にできるという事を伝えます ・事例検討をするときにこの手法を使用して検討したい ・保健師人材育成でも実施していく予定 ～職場や他職種連携で取り入れるためには・・・～ 等々多くの声をいただきました。

＜お知らせ＞

看護協会入会のお勧め

⇒職能として自分たちが困っていること声に出せる場
⇒スキルアップできる場
⇒日看協の研修が受けられます！
⇒その他レストランなどで割引になる特典もありま～す！

入会でお得いっぱい！

期間限定

公益社団法人 鹿児島県看護協会 主催事業

期間中【2017年8月1日(火)～8月31日(木)】に限り

サンリオキャラクターパーク

ハーモニーランド

無料ご招待

【会員とそのご家族様 対象】

入園+アトラクション利用のパスポートチケット(通常1名2,900円)が無料！ ※一部アトラクションは別料金となります。

※営業時間については、事前にHPをご確認ください。

2017年 8月の営業カレンダー

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

イベント情報など詳しくはHPで！ ハーモニーランド 検索

ハーモニーランドゲストインフォメーション

TEL0977-73-1111

Harmonyland

大分県速見郡日出町大字藤原5933番地

アクセスMAP

日出I.Cから約2分！(国道10号線沿)

©'76,'91,'93,'96,'01,'09,'12,'17 SANRIO

ご利用方法 下記利用申請書に必要事項をご記入の上、必ず「鹿児島県看護協会会員証」と一緒にハーモニーランドチケット売場に提示してください。入園とアトラクション利用のパスポートチケットをお渡しいたします。

※「利用申請書」のみの提示、または「会員証」のみの提示では本企画をご利用できません。必ず、「利用申請書」「会員証」の2つを一緒に提示してください。

切り取り

鹿児島県看護協会 会員専用 ハーモニーランド 利用申請書

(会員代表者を含む7名様まで)

【対象期間】2017年8月1日(火)～2017年8月31日(木)

P317

会員番号　　氏名

利用申請者(4歳以上の方) ※4歳未満の方は無料となりますので記入不要です。 ●会員番号は会員様のみ記入	氏名	氏名	氏名
	氏名	氏名	氏名

ご利用日　　月　　日　　ご利用者合計数(4歳以上)　　名様

お買い物・お食事でもお得な特典が！ 園内で使えるお得なサービス券を、ご来園時にプレゼント！

地区だより

出水地区

医療安全情報ネットワークの活動

平成 28 年度は、地区集会の特別講演で「リスクマネジメントと記録」の医療安全研修を開催しました。講演は､診療記録の定義から基本的な考え方、看護記録の書き方など具体例をあげた内容で、参加者から「大変勉強になった。」という感想が多くあげられ盛況でした。その他には KYT 研修・医療安全に関する DVD 鑑賞・情報交換会等を行いました。毎回、実施する情報交換会では、他の施設のいろいろな職種の方と交流が持てることから、「他の施設の話が聞けて良かった。」
「参考になった。」など高い評価を得ることができました。次年度も出水地区の看護職のみなさんの医療安全に関する情報共有と知識の向上が出来るように取り組んでいきたいと思います。

地域ケアサービス委員会の活動

血圧測定、健康相談を実施し地域の方と交流することで看護協会のアピール活動もしています。相談に来られる方は高齢者が多く、健康に対して関心や知識も高く活動している私たちにも良い刺激になっています。今後活動内容も血圧測定だけでなく様々な年齢層に関心をもってもらえるような事を検討していくことが課題とも言えます。「まちの保健室」として地域のイベントには欠かせない存在になるような活動ができればと取り組んでいます。

教育委員会の活動

●第 1 回　特別講演（医療安全研修）
「リスクマネジメントと記録」
講師：クオラリハビリテーション病院
医療安全管理室長　植田　みよ子先生
参加者は 71 名。

●第 2 回　准看護師研修
「高齢者の看取り（緩和ケア）」
講師：出水郡医師会広域医療センター
緩和ケア認定看護師　小園　智子先生
参加者は 31 名、うち准看護師が 7 名でした。家族への声掛けの方法を学び、また重要性を再認識したことやエンゼルメークなどの具体的な方法について理解を深めました。

●第 3 回　新人研修**「メンタルヘルスケア」**
講師：出水郡医師会広域医療センター
臨床心理士　永石　尋幹先生
参加者は 23 名、ストレス対応法などを学び、またグループワークでは、互いに褒め合うことで気持ちが軽くなり、リフレッシュができた研修でした。

●第 4 回　感染研修
「地域で取り組む感染対策～基礎知識の再確認と実践現場に応じた選択肢のある感染対策～」
講師：日本感染症管理支援協会
理事長　土井　英史先生

参加者は 60 名、全国区でも著明な先生で、多くの皆様に参加頂けました。実際の具体例をユーモラスに話をされ、あっという間に時間が過ぎすぐに実践に繋げられる内容で満足したという回答が多い研修でした。
今後も地域の看護の質向上に活動していきたいと思います。

●第 5 回　**褥創ケア研修**
講師：皮膚・排泄ケア認定看護師　神薗由佳先生
参加者４８名、基礎的な内容や事例を基にしたお話は、医療・介護分野で働く看護者にとって褥創ケア（皮膚ケア）に対する意識を高めるものとなりました。

大島地区

教育委員会の活動

●第１回　平成 28 年 6 月 11 日 (土)　会場：大島支庁　参加者：109 名
テーマ：**「地域包括システム推進における看護職の役割」**
講　師：鹿児島純心大学　看護栄養学部教授　八田 冷子 先生
　住み慣れた地域で最期まで安心して暮らしたいという望みを叶えるために多職種と連携して実践していきたいという感想が多く聞かれました。

●第２回　平成 28 年 8 月 27 日 (土)　会場：県立大島病院　参加者：87 名
テーマ：**「在宅ホスピスの基礎から実践まで」**
講　師：ファミリークリニックネリヤ院長　徳田 英弘 先生

テーマ：**「その人らしく最期まで過ごしていただくために」**
講　師：ネリヤ訪問ステーション所長　　大山 真奈美 先生
　住み慣れた自宅で最期を迎えることの大切さを学んだ、訪問看護の内容を学ぶことができて良かったと多くの感想がありました。

●第３回　平成 28 年 11 月 5 日 (土)　会場：大島支庁　参加者：171 名
テーマ：**「認知症の人がその人らしく暮らしていくために」**
講　師：認知症介護研究・研修東京センター研究部長　永田 久美子 先生
　認知症の方のありのままの声を聴くことの大切さやどのような人生を過ごしてきたのか一人一人の背景をみてケアをしていく事の重要性を学ぶことができました。

奄美のクロウサギ

●第４回　平成 28 年 11 月 26 日 (土)　会場：県立大島病院　参加者 56 名
テーマ：**「見直そう褥瘡ケア」「スキンケア、スキンテア」**
講　師：県立大島病院　皮膚・排泄ケア認定看護師　池 智代 先生、生田 英子 先生
　基礎から実践まで現場で活用できる内容だった、褥瘡予防カンファレンスやリスクアセスメントの重要性を学ぶことができたと多くの感想がありました。

●第５回　平成 29 年 2 月 18 日 (土)　会場：県立大島病院　参加者 46 名
テーマ：**「行動制限最小化看護～身体拘束について～」**
講　師：県立大島病院　精神科認定看護師　田邊　誠輝 先生
●第６回　平成 29 年 2 月 18 日 (土)　会場：県立大島病院　参加者 46 名
テーマ：**「疾患対応！　認知症高齢者の食支援」**
講　師：大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室 野原 幹司 先生

地域ケアサービス委員会の活動

「まちの保健室」は，27 年度から薬剤師会・栄養士会の協力を得て，今年度は更に理学療法士会の協力をいただくなど多職種合同で取り組むことで充実した活動となりました。また，開催場所も今年度は，奄美では近隣の２か所の町村と協働しての開催や大島郡区ブロックで開催するなど活動の場を拡大することができました。
「中高生向け進路ガイダンス」では，中高生の皆さんに将来奄美で看護職として働きたいという希望を持っていただけるよう，県ナースセンターのチラシ等を活用して紹介することができました。

また,「認知症カフェ」「奄美観光桜マラソン」に参加し, 地域住民との交流を通して, 健康相談や看護職の活動紹介をするなど幅広い活動を行っています。

大島地区医療安全情報ネットワークの活動

大島地区は現在、県立大島病院・大島郡医師会病院・奄美和光園・奄美病院・奄美中央病院・名瀬徳洲会病院・大島保養院の７施設で活動しています。平成 28 年度は４施設のラウンドおよび情報交換会を実施しました。

また、今年度は、「チームステップスと医療安全の推進」というテーマで富山大学の山本陽子先生を講師に迎え研修会を開催しました。57 名の参加者があり、活発なグループワークが行われました。

今後も医療安全の質の向上を目指して取り組んで行きたいと考えています。

ナースセンターだより

Vol.120

平成 29 年度 ナースセンター事業

バンク事業について

平成 28 年度は、ナースセンター事業の再就業支援セミナーに加え、ハローワーク連携事業、届出制などの後押しがあり、求人･求職者数が右肩上がりで増加してきました。また、再就業者数の増加、なかでも正規雇用の割合が 4 割以上に増加したことも大きな特徴といえます。県下の医療施設に人材が確保できていくことは、ナースセンター相談員としてもうれしい限りです。

これまで、ナースセンターの広報不足が言われてきましたが、2 月に厚労省から医療機関に対し、「都道府県ナースセンターに対する認識調査」が行なわれたことがきっかけとなり、新規求人が増加しました。また、県は県立図書館や東京物産館などに鹿児島県ナースセンターのリーフレットを配布するなど、ナースセンターの周知に力をいれてきています。これらの後押しを受けて、ナースセンターは再就業をめざす看護職と、その人材を必要とする求人施設の案内役に頑張りたいと思います。

そのひとつとして平成 29 年度は、ブランクの長い看護職に対し、「看護がしたい」が技術・知識に自信がなく踏み切れないという方々に対する支援を充実させ、ナースセンターならではの取り組みを展開していきたいと考えています。どうぞ、ご活用下さい。

届出制度（とどけるん）

届出制が開始されて2年目を迎えました。鹿児島県は優秀で、2 月末で 900 人を突破しました。再就業をめざしてナースセンターへの登録を希望する看護職はやや全国平均を下回るものの、まずまずの状況です。各施設の看護管理者の皆様とひとりひとりの看護職の努力に深く感謝しています。届出登録された看護職が、自分のライフスタイルに会った職場を見つけ、施設が必要な人財を確保できるよう、次の課題としたいと思っています。

とどけるん

ハローワーク連携事業

16 人の地域ハローワーク相談員により鹿児島市外の看護職への就業相談事業を行なっています 2 月末現在で、地域差はありますが、全体で 96 件の相談者がありました。HWにおける相談は就業相談だけにとどまらず具体的で切実な内容が多く、ベテラン相談員も、自分の仕事経験を通して考えながら対応することが多々あるようです。

相談員と話すことで、気持ちが軽くなり前へ進むことが出来た、現職で働き続けてみる、といった相談者からの感謝の言葉が寄せられています。

再就業支援セミナー（託児付）

ブランクがある看護職がスムーズに復職できるように、セミナーを開催します。
再就業への第一歩を、踏み出してみませんか？

【開催日】
第１回　平成 29 年 7 月 11 日（火）、12 日（水）講義および見学実習１日間（鹿児島市）
第２回　平成 29 年 8 月 22 日（火）～ 23 日（木）講義および見学実習　（薩摩川内市）
第３回　平成 29 年 10 月 17 日（火）、18 日（水）講義および見学実習１日間（鹿児島市）

【対象者】
未就業または再就業１年未満で
再就業を希望する看護師・准看護師・
助産師・保健師

【内容】
講義：救急時の対応、院内感染防止、呼吸・
循環とフィジカルアセスメント、他
見学実習：県内の医療機関、福祉施設、訪問
看護ステーションのいずれか（１日間）

【応募方法】　鹿児島県ナースセンターのホームページ（http://k-kango.jp/）から申込書をダウンロードし、メール、郵送、来所にてお申込みください。（託児希望者は事前申込が必要。）
【受講料】2500 円　（託児料は別途必要）　※研修初日に徴収
※　要項・応募などの詳細は５月以降にナースセンターのホームページに掲載しますので、ご確認ください。

技術支援セミナー

看護技術に自信がなくて再就業を思いとどまっている方をサポートします。
【技術支援セミナー（採血・注射）】（平成 29 年５月～平成 30 年２月）
開催日時：毎月第４金曜日 9：30 ～ 11：30　　開催場所：鹿児島大学病院
申し込み：ナースセンターへ電話で申し込みを！ 10 日までの受付ですが、定員 6 名に達した時点で締め切りますのでお早めにお申し込みください。
※再就業にあたり、胃瘻管理や吸引などの技術研修を希望される場合は、ナースセンターへご相談ください。　（ナースセンター ☎ ０９９－２５６－８０２５）

【求人・求職登録状況】

	１月	２月
求人数（人）	690	667
求職者数（人）	369	412
就業者数（人）	27	49

鹿児島県ナースセンター
〔看護師等無料職業紹介所　４６-ム-０１０００２〕
★窓口・お電話でのご相談★
相談日：月～土　午前９：００～１２：００
午後１：００～　４：００
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町 21-5
TEL：099-256-8025
FAX：099-256-8079
mail：kagoshima@nurse-center.net
ホームページ　http://k-kango.jp/

訪問看護研修

『平成 29 年度訪問看護研修について』

【開催期日】平成 29 年 6 月 2 日（金）～平成 29 年 11 月 17 日（金）

＊研修会により日程，対象者など異なります。詳細はホームページで御確認ください。

【会　　場】鹿児島県看護研修会館他

【応募期間】平成 29 年 4 月 1 日 (土）～ 5 月 1 日 (月）

＊お問合せはナースセンターまで！　TEL：099-256-8025

【研修会内容】

1）訪問看護入門研修（訪問看護に興味のある方）

2）訪問看護管理者研修（現在，管理者の方）

3）訪問看護師養成研修（訪問看護に従事している方）

生活を支える訪問看護に興味のある方や従事している方を応援します。

訪問看護必要な知識･技術を学び，実践力アップ！　　訪問看護の楽しさの再発見！

また，訪問看護の魅力に触れてみませんか？

是非，この機会にチャレンジして，ご活躍いただければと思います。

News

1）2017（平成 29）年度から鹿児島県看護協会経由での『訪問看護 e ラーニング』申込を開始いたします。詳細については鹿児島県ナースセンターへ！

2）『訪問看護交流会（仮名）』企画中です。ご案内を楽しみに！

新所長あいさつ

今古川則子所長

看護職としての退職を期に、鹿児島県ナースセンターにご縁を頂きました。これまでの経験を生かしながら少しでも看護職の皆様のお役に立つことができればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

※お詫びと訂正

３月中に配布しました、看護週間ちらしの裏面に記載してあります「２０１７　看護の日　看護週間」を「２０１９　看護の日　看護週間」と表記しておりました。深くお詫び申し上げます。

看護の普及事業

①「看護の日」記念事業 (看護週間事業）

②まちの保健室

③ふれあい看護体験 (中高生・一般の方が病院や施設で看護体験ができます。)

④出前授業（学生を対象に看護の魅力をお話しします。)

⑤進路相談（看護職の資格取得方法等）

理事会報告

第６回　理事会
日時：平成 29 年 1 月 21 日（土）13:30 ～ 17:00　17 名出席

◆　協議事項
1　基本方針に関する事項
1）平成 28 年度鹿児島県看護協会事業検討会を踏まえての今後の取組について
2）平成 29 年度重点事業 (案）について
3）平成 29 年度教育研修計画について
2　事業推進に関する事項
1）平成 29 年度医療介護総合確保基金事業について
2）平成 29 年度通常総会時における 4 職能集会について
3　管理的事項
1）公益社団法人鹿児島県看護協会事務局長就業規則（案）の制定について
2）平成 29 年度改選役員・推薦委員並びに平成 30 年度代議員及び予備代議員の推薦状況
4　会員支援関係
1）平成 29 年度鹿児島県看護協会名誉会員候補者について
2）平成 29 年度鹿児島県看護協会長表彰者の推薦について
3）平成 29 年度鹿児島県看護業務功労者の表彰者の推薦について

★　報告事項
1　基本方針に関する事項
1）看護師の特定行為研修区分別科目増加に係る鹿児島大核病院長への要望書の提出について
2）鹿児島県地域医療構想について
2　事業推進に関する事項
1）教育事業について
2）訪問看護人材活用試行事業の実施について
3）子どもと子育て世代包括ケア推進のためのモデル事業について
4）鹿児島県ナースセンター事業運営委員会について
5）桜島火山爆発総合防災訓練
6）第 50 回（平成 31 年度）日本看護学術集会の開催について
3　管理的事項
1）公益法人の各機関の役割と責任
2）理事会・運営委員会議事録について
3）血管年齢測定機器の修理等について
4）「看護職の賃金モデル」推進事業会議について
5）九州地区法人会・連絡会結果について
4　会員支援関係
1）平成 29 年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦について
2）平成 29 年度日本看護協会長候補者の推薦について
3）平成 28 年度鹿児島県看護協会会員数及び平成 29 年度会員継続申し込み状況について

第７回　理事会
日時：平成 29 年 3 月 18 日（土）13:30 ～ 17:30　17 名出席

◆　協議事項
1　基本方針に関する事項
・平成 29 年度重点事業及び事業計画（案）について
2　事業推進に関する事項
1）平成 29 年度医療介護総合確保基金事業について
2）看護職のネットワーク強化事業について
3　管理的事項
1）研究倫理委員会規約改正について
2）平成 29 年度行事予定について
3）平成 28 年度決算見込について
4）平成 28 年度補正予算 (案）について
5）平成 29 年度予算案について
6）平成 29 年度通常総会及びプログラム並びに議案について
7）平成 29 年度役員・職能委員・推薦委員候補者等について
8）ナースセンター所長の解任及び選任について
9）訪問看護ステーション所長の解任及び選任について
4　会員支援関係
1）平成 29 年度鹿児島県看護協会長表彰者の推薦について
2）平成 29 年度鹿児島県看護業務功労者表彰の推薦について

★　報告事項
1　基本方針に関する事項
・平成 29 年度教育計画案について
2　事業推進に関する事項
1）訪問看護人材活用試行事業の実施について
2）子どもと子育て世代包括ケア推進のためのモデル事業について
3）ＷＬＢフォローアップ推進・評価委員会について
4）第 50 回（平成 31 年度）日本看護学会学術集会の開催について
5）看護職員就業相談事業について
6）平成 29 年度看護師等特定行為研修支援事業に係る意向調査について
7）男性看護師交流会について
8）准看護師養成校への訪問について
3　管理的事項
1）「看護職の賃金モデル」推進事業会議について
2）理事会・運営委員会議事録について
4　会員支援関係
1）平成 28 年度地区別会員数の状況について
2）平成 29 年度新規・継続会員の状況について

※毎回、日本看護協会理事会報告、職能委員会報告、地区報告、地区長情報交換会報告を口頭で委員会報告他団体会議報告、県外出張報告を書面で行っています。

表紙のリニューアルを考えています。
スタッフ紹介、白衣自慢などなど、看護師で表紙を飾ってみませんか？病院単位でも、病棟単位でも OK です。
応募は看護協会広報委員まで。

看護専門職として社会に貢献しよう　会員の増加と福祉の向上のため活動しよう

編集後記

平成 29 年度は 2025 年問題を見据えて地域包括ケアに着目し様々な特集を掲載していこうと考えています。
地域包括ケアの研修や取り組みなど、県内でも多くの動きがあります。
それぞれの立ち位置から看護職としてどのように関わっていくか考えていきましょう。　広報委員一同

公益社団法人
鹿児島県看護協会
鹿児島市鴨池新町21-5
TEL.099-256-8081　FAX.099-256-8079
URL　http://k-kango.jp
E-mail　kakankyo@orange.ocn.ne.jp